

自昭和十五年一月十二日
至同 一月十九日

花縣平地及獅嶺圩白泥水河畔ノ戦鬪

1910

各時期ニ於ケル戦闘經過

第一 攻撃準備

(一月十二日)晴天

花縣 獅嶺圩並白泥水河畔 白(赤)泥墟及炭步圩附近攻撃計
画完成シ攻撃準備ニ關シ八時命令ヲ下達ス

(一月十三日)晴天

後藤部隊(歩三三旅團司令部、歩三三七主力、歩一六一聯隊長ノ指揮
スル一部ヲ基幹トセルモノ)ハ從化東方地區ノ作戰ヲ終了シ十三日朝迄ニ
河崎部隊(歩三三七)ヲ以テ水南頭(大平場北方約四軒)爾餘ノ部隊ヲ
以テ大平場附近ニ集結ヲ完了シ爾後ノ作戰ヲ準備ス

1911

2. 松本部隊(歩)〇七旅團司令部(歩)〇八(歩)一七〇ヲ基幹トスルモノハ十三

日夜流溪水右岸鴉湖 長岡蚌湖附近ニ兵力ヲ集結ス

3. 挺身隊(歩)六ノ第一大隊)ハ十三日夜龍口莊ニ於テ約百名餘ノ敵ヲ

撃破シ同地ヲ占領確保ス

4. 師團司令部ハ依然廣州北郊旧第四路軍々醫院ニ在リ 小野參謀

ヲ松本部隊ニ神本參謀ヲ後藤部隊ニ指導ノ爲派遣ス

(二月十四日)晴天

後藤部隊

1. 河崎部隊(歩)一三七基幹)ハ早朝ヨリ水南頭附近ニ於テ流溪水ヲ渡

河シ蓮塘―河樹園―獅前市道ヲ前進中約二百ノ敵(五ニ師ニ屬)

1912

ヲ撃破シ二十時過獅前市ニ到着ス 諸部隊自的ハ從化東方地區
ノ作戰ニ引續キ水南頭ヨリ北方機動シ鰲頭墟方向へ陽動シ反
轉シテ花縣平地ニ進出シ花縣平地ノ敵ノ北方へ退路ヲ遮断ス在リ
次テ二十三時同部隊ハ三縱隊トナリ仙人嶺、東坎埔、白沙坡ノ線ニ向
ヒ前進ス

ロ 乾部隊(歩六一聯隊)ハ二十時石角墟ニ向ヒ前進シ後藤部隊本部其
他配屬部隊ハ工兵ノ道路補修ニ伴ヒ乾部隊ノ後方ヲ續行ス

メ 挺進隊ハ續イテ龍口莊ノ確保ニ任シアリ然ルニ二十二時頃約五百ノ敵ハ
長埔、小埔附近ヨリ我ニ向ヒ攻撃シ來リ斬次東方ニ迂回シ其退路ニ
迫ラントスルノ氣執カラホセシヲ以テ寧子口當面ノ敵ヲ抑留シ全般ノ戰

1913

果ヲ大ナラシムルヲ適當ト認メ十八時挺進隊ノ任務ヲ解除シ松本部隊
長ノ指揮ニ屬セラレ當面ノ敵ヲ極力正面ニ抑留セシムルコトシ小野
參謀ヲ派遣シテ直接之ヲ指導セシム

該隊ハ或ハ戦線ヲ後退シ或ハ陽ニ後退ヲ粧ヒ或ハ自動車ノ煌火ヲ南
方ニ向ヒテ點スル等アラユル手段ヲ講シ抑留ニ努メタルモ當面ノ敵ハ二
十時頃夜暗ヲ利用シ北方ニ退却セリ故ニ松本部隊長ハ速ニ龍口莊ニ
進出シテ宮崎部隊(歩一六ノ第一大隊)ト交代セシメ宮崎部隊ヲ豫定
ノ如ク再ヒ挺進隊トナシ水田ヲ挺進潛行シ花縣北方ニ進出スベク
命ゼリ

3
師團司令部ハ十六時蚌湖ニ到着ス

1914

宮崎部隊ノ龍口莊附近ノ戦況ニ鑑ミ挺進隊ヲ松本部隊ニ配屬
シ且松本部隊ノ一部ヲ以テ花縣北方地區ニ挺進シ敵ノ北方ニ退路ヲ
遮断セシム

第二 第一期作戰(花縣平地ノ攻撃手)

(二月十五日) 晴天

後藤部隊

河崎部隊ハ七時概ネ予定ノ線ニ進出 乾部隊亦八時頃石角墟附近ニ於
テ攻撃準備ヲ完了セリ

高橋部隊(騎兵一〇四大隊主力)ハ零時李溪墟附近ニ於テ流溪水ヲ渡河

1915

シ八時頃山下嶺梅山ノ線ニ進出シ敵ノ南方ヘノ脱出ヲ防止ス

爆撃隊ハ八時ヨリ九時ノ間ニ盛ニ象山脚ヲ爆撃ス

乾部隊ハ九時三十分九傳湖ニ向ヒ一齊ニ攻撃ヲ開始セリ 時ニ旅團司令
部ハ馬田東方高地ニ在リ

十時三十分主力ハ象山脚ヲ占領シ河崎部隊主力ハ上古嶺(象山脚北方
四軒)ノ線ニ進出シ十一時四十分高橋部隊ハ寅寅庄ノ線ニ進出セリ

十五時頃主力ハ九傳湖附近ニ河崎部隊ハ大東埔附近ニ集結シ本夜

鉄山河以東 鉄山 仙閣 大東埔各南端ヲ連ヌル線以北花縣ニ

亘ル地區ニ宿營セリ

又 松本部隊

1916

イ宮崎部隊ハ再ヒ挺進隊トナリ十五日零時頃龍口莊發長岡嶺和
安里東方水田ヲ挺進シ途中敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク概ネ七時前
後花縣北側ニ進出セリ時ニ北方ニ退却セントスル敵數十名ニ遭遇シ
之ニ大打撃ヲ與ヘ且有利ナル資料ヲ鹵獲シ十二時頃花縣ニ入り夕刻
後藤部隊長ノ指揮ニ復歸セリ

ロ古賀部隊ハ夜半長岡嶺和安里附近ヲ經テ十二時稍々前花縣西
南方約ニ料石塘南側高地ニ進出十二時以後師團直轄トナリ同夜平山
圩長埭附近ニ宿營ス

1917

ハ松本部隊主力ハ八時竜口莊附近出發平山圩 西龍圩附近ニ於テ若
干ノ敵ノ抵抗ヲ擊破シ十二時前後西龍圩ニ進出シ同夜元田九傳湖
附近ニ宿營ス

3 師團司令部ハ二時蚌湖ヲ出發竜口莊ニ次テ十時過平山圩ニ進出シ
同夜同地ニ宿營ス

第三 第二期作戰 (獅嶺圩攻撃)

第三期作戰 (白泥河ニ向テ追撃)

(一月十六日) 晴天

後藤部隊

1918

右縱隊(Ⅱ/1614)ハ花縣―龍岡―義坑道北方山脚ヲ獅嶺圩西北
方約四軒長坑嶺ニ騎兵隊ハ花縣―紫泥莊―獅嶺圩道ヲ獅峯
圩東方約四軒南山嶺ニ向ヒ五時三十分各々鉄山河線ヲ出發シ途中
抵抗ヲ受クルコトナク概ネ十一時頃右縱隊ハ目的ノ地點ニ騎兵隊ハ敵無
キヲ知り獅嶺圩ニ進入セリ

主力ハ七時三十分鉄山河線ヲ出發獅嶺圩附近ニ向ヒ前進セリ

途中糧秣補給等ノ爲若干時間ヲ要シ十五時獅嶺圩ニ到着セリ之ヨリ
先キ騎兵隊ハ白泥墟ニ向ヒ追撃ヲセシム

十六時乾部隊(歩六―主力)ハ獅嶺圩ニ於テ師團直轄トナリ右追撃
隊トシテ旧右縱隊ヲ併セ指揮シ分水山附近ニ向ヒ前進シ夕遅ノ向地ニ

達シ師團ノ背後ヲ清遠方向ニ對シ掩護ス

部隊主力ハ中追撃隊トナリ白泥壙附近白泥水河畔ニ向ヒ追撃手シ

二十時白泥壙ニ入ル

高橋部隊ハ既ニ白石附近ニ於テ五、六十名ノ敵ヲ撃破シ秦水ヲ渡河
シテ白泥圩白泥壙ヲ占領シアリ

同夜高橋部隊(歩一中配屬)ヲ以テ白泥壙附近ニ主力ヲ以テ北向附近
ニ宿營ス

古煩部隊

早朝宿營地出發粵漢線北側ニ沿フ地區ヲ獅嶺圩附近ニ向ヒ前進
敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク十二時過同地附近ニ達ス

爾後左追撃隊トナリ官田米樓ヲ經テ赤泥墟附近白泥水河畔ニ
向ヒ追撃手ス

十九時頃打鼓嶺附近ニ於テ約百名ノ敵ノ抵抗ニ會シ之ヲ攻撃撃退シ
同夜ハ赤泥墟ニ宿營シ炭步墟ノ攻撃ヲ準備シテ夜ヲ徹ス

3 松本部隊

早朝ヨリ花縣平地ノ掃蕩ヲ實現ス

4 砲兵隊

砲兵隊(野砲三大 野重一大)ハ湯屋砲兵中佐ノ指揮ヲ以テ早朝宿營
地出發新街ヲ經テ長岡嶺ニ到リ長岡嶺附近ニ陣地ヲ占領シ古
賀部隊ノ馬嶺河ノ渡河ヲ掩護ス

5 師團司令部

八時平山圩ヲ出發花縣ニ到リ後藤部隊主力ノ進路ヲ先ツ獅嶺圩
ニ向ヒ前進ス

紫泥莊附近ニ於テ道路ノ破壞程度大ナルヲ以テ車輛部隊ハ全部花
縣ニ到ラシメ松本部隊長ノ指揮ニ屬セシメ次テ夫ノ原駐地ニ歸還セシム
飛行隊ノ通報ニ依リ赤泥墟ニ約四百 炭步墟ニ約二千(各馬ヲ有ス)
アリテ後者ハ南方ニ退却中ナルヲ知リ十五時獅嶺圩ニ於テ追撃ノ部

署ヲ爲シ且獅嶺圩附近ヲ直チニ掃蕩スル必要ヲ認め歩一六一ノ第
三大隊(二中隊欠)ヲ殘置シ掃蕩ニ任セシム

小野參謀古賀部隊ノ戰鬥ヲ指導ス

1922

(二月十七日) 晴天

ノ 後藤部隊 (旧中追撃隊)

十時北向附近出發田心 馮村道ニ沿フ地區ヲ掃蕩シ獅嶺坪ニ到リ

宿營ス

メ 乾 部隊 (旧右追撃隊)

早朝分水山附近出發銀盞坳(分水山北方約七粁)附近ヲ搜索ノ爲前

進シ南問山南方隘路附近ニ達セル時七八〇名ノ敵ノ抵抗ニ會シ之ヲ撃テ

破スニ〇時頃獅嶺坪ニ歸來シ後藤部隊長ノ指揮ニ復歸シ同地ニ宿

營ス

ハ 騎 兵 隊

後藤部隊ノ配屬ヲ解カレ八時白泥墟出發白泥水北岸ニ沿フ地區
ヲ十時三十分赤泥圩ニ到リ古賀部隊長ノ指揮ニ入ル

4 古賀部隊

十三時頃ヨリ主力ヲ以テ白泥水南方地區ヨリ一部ヲ以テ其ノ北方地區ヨリ
炭埔墟ヲ攻撃ス 敵ニ三十ノ坻坑ヲ受ケシノミニシテ其ノ主力ハ既ニ遠
ク南方ニ退却シアリ十九時頃五和圩附近ニ於テ渡河ヲ開始ス

5 松本部隊(歩一〇七旅團司令部 歩一〇八主力)

原集結地ニ歸還シ次期作戰ヲ準備ス

6 師團司令部

十三時田心出發 獅嶺圩ニ到リ宿營ス

1924

參謀長乾部隊ノ戦闘ヲ指導ス

第四 歸還

(一月十八日) 晴天

(一月十九日) 晴天

後藤部隊(歩一三三旅團司令部 歩一三七)

早朝獅嶺圩出發平山圩ニ到リ糧秣ノ補給ヲ受ケ同地附近ニ宿營シ
騎兵隊ヲ併ヒ指揮シ十九日九傳湖石角墟ヲ經テ途中掃蕩宜撫ヲ實
施シ(十五時)大平場ニ歸還ス

乾部隊

八時獅嶺圩出發粵漢線ヲ南下原集結地ニ歸還ス

古賀部隊

七時五和圩附近ニ於テ渡河ヲ完了シ新街ニ兵力ヲ集結シ十一時新街
出發原集結地ニ歸還セリ

師團司令部

乾部隊本部後方前進夕刻原駐地ニ歸還ス

1926

齟齬過失其他將來ノ參考トナルベキ事項

一月十五日〇〇部隊ニ糧秣補給ニ方リ〇〇部隊本部ニ於ケル輜重隊ヘ
連絡〇〇部隊ノ宿營地大東埔ヲ大塘埔ト誤リ傳ヘシ爲補給出來
ズヤ六日朝補給ノ止ムナキニ到リ獅嶺圩ヘ進出甚シク遲延セリ
支那ニ於ケル地名ハ相似タルモノ同ノモノアルヲ以テ注意ヲ要ス

1927